

# 第4章

# 開講科目

## 【目次】

1. 2015年度開講科目一覧
2. 開講科目
  - (1) テキスト科目、オンデマンド科目
  - (2) スクーリング科目
  - (3) 資格科目（演習・実習科目）
3. 2015年度スクーリング科目開講日程
4. 2015年度科目修了試験日程
5. 2015年度学年暦（学習スケジュール）

# 1. 2015年度開講科目一覽

科目名 <科目の種類欄の表示>	単 位 数	科 目 の 種 類	学 年 配 当	指 社 会 福 祉 科 目	指 精 神 保 健 福 祉 科 目	学 費	
						合 単 位 授 業 計 料	受 ス ク ー リ ン グ 講 料
基礎科目							
福祉経営序論 (オンデマンド版)	1	O	1				5,400
スタートアップセッション (オンデマンド版)	1	O	1				5,400
経営学	4	T	1				21,600
経済学	4	T	1				21,600
簿記	2	T	1				10,800
民法	4	T	1				21,600
日本史	4	T	1				21,600
生物学	2	T	1				10,800
福祉社会入門	2	O	1				10,800
実践英会話	2	O	1				10,800
英語プレゼンテーション	2	O	1				10,800
インターネット演習 I	2	O	1				10,800
インターネット演習 II	2	O	1				10,800
社会福祉学	4	O	1	○	○		10,800
社会学	2	O	1	○	○		10,800
心理学	2	O	1	○	○		10,800
医学概論	2	O	1	○	○		10,800
社会福祉調査論	2	T	1	○			10,800
専門科目							
マーケティング	4	T	1				21,600
財務会計	4	T	1				21,600
管理会計	2	T	1				10,800
企業ファイナンス	4	T	1				21,600
労働法	4	T	1				21,600
経営組織と戦略	4	T	1				21,600
ベンチャー経営	4	T	1				21,600
環境ビジネス	4	T	1				21,600
人的資源管理	4	T	1				21,600
医療福祉ビジネス	2	O	1				10,800
NPO論	4	T	1				21,600
コミュニティマネジメント	4	T	1				21,600
地域環境計画	4	T	1				21,600
国際開発	4	T	1				21,600
環境と開発	4	TO	1				21,600
国際福祉開発	2	O	1				10,800
福祉社会開発の支援ワーク	1	O	1				5,400
福祉社会システム論	4	T	1				21,600
医療政策論	4	T	1				21,600
医療経済学	2	T	1				10,800
医療福祉経営論	4	T	1				21,600
医療・福祉サービス論	2	T	1				10,800
非営利マーケティング論	4	T	1				21,600
社会福祉法人会計	4	TO	1				21,600
社会福祉援助技術論 I	4	O	1	○			21,600
社会福祉援助技術論 II	4	O	1	○			21,600
社会福祉援助技術論 III	4	O	1	○			21,600
地域福祉論	4	O	1	○	○		21,600
福祉行政と福祉計画	2	T	1	○	○		10,800
福祉経営論	2	O	1	○			10,800
社会保障論	4	O	1	○	○		21,600
高齢者に対する支援と介護保険制度	4	O	1	○			21,600
障害者福祉論	2	O	1	○	○		10,800
児童福祉論	2	O	1	○			10,800
公的扶助論	2	O	1	○	○		10,800
保健医療サービス	2	O	1	○	○		10,800
就労支援サービス	1	O	1	○			5,400
権利擁護と成年後見	2	O	1	○	○		10,800
更生保護	1	O	1	○			5,400
福祉文化論	2	T	1				10,800
死生学	2	T	1				10,800
生涯学習論	2	T	1				10,800
高齢者の心理	2	T	1				10,800
健康格差社会	2	T	1				10,800
産業組織心理学	2	T	1				10,800
シルバーファイナンス	2	T	1				10,800
スポーツマネジメント	2	O	1				10,800
福祉情報技術	2	O	1				10,800
リハビリテーション医学	2	O	1				10,800
障害児心理学	2	O	1				10,800

科目名 <科目の種類欄の表示>	単 位 数	科 目 の 種 類	学 年 配 当	指 社 会 福 祉 科 目	指 精 神 保 健 福 祉 科 目	学 費	
						合 単 位 授 業 計 料	受 ス ク ー リ ン グ 講 料
基礎科目							
精神医学	4	T	1		○		21,600
精神保健学	4	T	1		○		21,600
精神保健福祉相談援助の基盤	4	T	1		○		21,600
精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I	4	T	1		○		21,600
精神保健福祉の理論と相談援助の展開 II	4	T	1		○		21,600
精神保健福祉に関する制度とサービス	4	T	1		○		21,600
精神障害者の生活支援システム	2	T	1		○		10,800
ファイナンシャルプランニング総論	1	T	1				5,400
金融資産運用設計	2	T	1				10,800
不動産運用設計	2	T	1				10,800
ライフプランニングと資金計画	2	T	1				10,800
リスク管理と保険	2	T	1				10,800
タックスプランニング	2	T	1				10,800
相続・事業承継設計	2	T	1				10,800
ファイナンシャルプラン作成	1	O	1				5,400
スクーリング科目							
基礎科目							
福祉経営序論	1	S	1				5,400 5,000
スタートアップセッション	1	S	1				5,400 5,000
フォロアップセッション	1	S	1				5,400 5,000
障害者スポーツ研究	2	S	3				10,800 5,000
専門科目							
レポート・研究入門	2	S	1				10,800 5,000
論文作成基礎 I	1	S	1				5,400 5,000
論文作成基礎 II	1	S	1				5,400 5,000
研究論文指導	4	S	4				21,600 50,000
日本企業の経営・会計	2	S	1				10,800 5,000
ビジネス文書とプレゼンテーション	1	S	1				5,400 5,000
地域再生	2	S	1				10,800 5,000
国際開発と貧困問題	2	S	1				10,800 5,000
福祉の歴史	2	S	1				10,800 5,000
社会福祉政策国際比較	2	S	1				10,800 5,000
社会福祉と権利擁護	2	S	1				10,800 5,000
社会福祉法人のマネジメントと会計	2	S	1				10,800 5,000
医療福祉システムの理論と実践	2	S	1				10,800 5,000
医療福祉制度と暮らし	2	S	1				10,800 5,000
高齢者福祉分野の経営戦略	2	S	1				10,800 5,000
ソーシャルワークと専門職	2	S	1				10,800 5,000
子どもと青年の育ちの支援	2	S	1				10,800 5,000
社会保障の制度と課題	2	S	1				10,800 5,000
ケアマネジメント入門	2	S	1				10,800 5,000
福祉現場の人材養成	2	S	1				10,800 5,000
スクールソーシャルワークと学校現場	2	S	1				10,800 5,000
緩和ケアとターミナルケア	2	S	1				10,800 5,000
福祉・介護のマネジメントとリーダーシップ	2	S	1				10,800 5,000
地域福祉と災害ソーシャルワーク	2	S	1				10,800 5,000
事例研究 (福祉職場の課題解決)	2	S	1				10,800 10,000(注2)
ソーシャルワーク国際比較	2	S	1				10,800 5,000
認知症ケアと自我機能	2	S	1				10,800 5,000
スーパービジョンの理論と実践	2	S	1				10,800 5,000
スーパービジョン演習	2	S	1				10,800 10,000(注2)
精神障害者と福祉実践 I	2	S	1				10,800 5,000
精神障害者と福祉実践 II	2	S	1				10,800 5,000
障害者政策と自立支援	2	S	1				10,800 5,000
超高齢社会と老後リスク管理	2	S	1				10,800 5,000
福祉とテクノロジー活用	2	S	1				10,800 5,000
痛みとリハビリテーション	2	S	1				10,800 5,000
ユニバーサルデザインと暮らし	2	S	1				10,800 5,000
フィールドスタディ科目							
スウェーデン研修	4	S	1				21,600 (注1)
相談援助演習 I	(2)	TS	3	○			10,800 10,000(注2)
相談援助演習 II	(4)	TS	3	○			21,600 10,000(注2)
相談援助演習 III	(4)	TS	4	○			21,600 10,000(注2)
相談援助実習指導 I	(3)	TS	3	○			16,200 10,000(注2)
相談援助実習指導 II	(3)	TS	4	○			16,200 10,000(注2)
相談援助実習	(4)	J	4	○			21,600 (注3)(注4)
精神保健福祉援助演習	(6)	TS	4		○		32,400 10,000(注2)
精神保健福祉援助実習指導	(6)	TS	4		○		32,400 10,000(注2)
精神保健福祉援助実習	(6)	J	4		○		27,000 (注3)(注4)

(注1) 渡航費等の研修費用 (380,000 円程度) ががかかります。

(注2) スクーリング受講料 (5,000 円) とクラス制科目受講料 (5,000 円) の合計金額です。

(注3) 別途実習登録費用が必要です。

(注4) 別途実習委託費が必要です。

※( ) の単位は、卒業単位に含まれません。

※スクーリング科目は、第4期出願 (科目履修生・特修生) の場合、履修できない場合があります。

※学年配当は、その学年以上であれば履修が可能です。例えば学年配当が1年生の科目は、1年生～4年生まですべての学年で履修可能です。

## 2. 開講科目

以下の開講科目の内容については変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
また、各科目の詳細については本学ホームページ <http://www.nfu.ne.jp/> においてご覧になれます。

[注意] 一部の開講科目には履修要件（選考試験）が定められています。

[スウェーデン研修・研究論文指導・事例研究（福祉職場の課題解決）・スーパービジョン演習]

### 凡 例

- 社** 社会福祉士国家試験受験資格指定科目
- 精** 精神保健福祉士国家試験受験資格指定科目
- A** AFP 資格審査試験受験資格指定科目
- 必** 必修科目（オンデマンド科目、スクーリング科目いずれかを履修）

### (1) テキスト科目、オンデマンド科目

#### 【基礎科目】

科 目 名	福祉経営序論（オンデマンド版） <b>必</b>	単 位 数	1 単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	福祉経営学部長		
通信教育課程の導入教育として、福祉経営とは何かを明らかにし、福祉経営を学ぶうえでの課題や方法について論ずる。講義を通じ、福祉経営学習の全体の見取図を与え、知識の追求、問題解決の探求等々に向けての学習意欲を喚起する。					
科 目 名	スタートアップセッション（オンデマンド版） <b>必</b>	単 位 数	1 単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	学習指導教員		
※正科生・特修生のみ履修可能 学習を円滑に始められるように、学習方法や学習計画の立て方などについて学ぶ。 講義目的は、以下の3つがあげられる。 ①開講されている科目形態に応じた学習方法を理解する。 ②単位修得までの一連の流れとして、テキストの読み方、オンデマンド講義の視聴方法、添削課題・小テスト・科目修了試験への取り組み方を知る。 ③卒業までを念頭においた学習計画を立てる。					
科 目 名	経営学	単 位 数	4 単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	柳在相		
企業経営の基礎を理解するには、組織マネジメントという視点にたって、経営目標の達成に向けた効率的なマネジメントのプロセスをおさえるとともに、変貌する経営環境に適応していくプロセスにも留意することである。企業と環境、組織の構造と過程、組織の変革といった企業経営の中心課題をみたらうえて、医療・福祉、環境ビジネスなどといった分野のマネジメントの問題を認識していく枠組みを学ぶ。さらに、21世紀の産業経営の将来ビジョンとして示されている社会貢献型経営についても検討し、企業経営のあり方についても考察する。					
科 目 名	経済学	単 位 数	4 単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	谷地宣亮、鈴木健司		
一般の営利企業のみならず医療・福祉施設の行動を理解するには、希少な資源の効率的配分を研究対象とする経済学の知識が不可欠である。また地域開発にとっても経済学が有用な情報を与えることはいままでのない。本講では、経済理論を理論としてだけ学ぶのではなく、企業ならびに家計の行動についての具体的なケース分析を通して、経済学の基本的な考え方を習得する。また、社会人学生のもつ実践的な要求にも応えることを考慮し、医療・福祉施設といった非営利組織についても詳しくとりあげる。					
科 目 名	簿記	単 位 数	2 単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	徳前元信		
簿記とは、企業の経営活動を計数的に記録し、それを集計して企業の経営成績や財政状態を知るための計算処理記述である。最初に、簿記の基本的仕組みを理解する。次いで、商品売買業を営む個人商店における諸取引の仕訳と一連の決算手続きについて習得する。仕訳例や設例を利用して簿記知識の効率的習得を目指す。					

**必**：必修科目です。オンデマンド科目、スクーリング科目のいずれかを履修してください。

科目名	民法	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	近藤充代			
民法は、市民間の財産関係、取引関係、身分関係を規律している法律であるが、本講では市民生活にとって身近である消費者問題を題材に、現代社会における民法の役割の理解と法的な思考方法の修得をめざしたい。具体的には、消費者被害の救済という観点から、民法総則（行為能力制度、意思表示等）、契約法の基礎（契約の成立、効力、解除等）を学習し、さらには特定商取引法、割賦販売法などの民法特別法についても理解を深めたい。						
科目名	日本史	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	曲田浩和			
これまで中学校・高等学校の教科書などで学んできた、わたしたちの日本史像は、最近大きく書き換えられようとしている。飛躍的に増大した発掘調査を背景とした考古学の発展、主として近世・近代の地域史研究の中で確認された新たな史料（古文書）に基づく新しい問題提起、これまでとは異なる視点での既存史料の読み直しなどが進んでいるからである。この新しい到達点を踏まえた日本史像を、受講生諸君とともに追及してみたい。通史的叙述を柱としつつ、視点・論点についての解説を加えたテキスト（参考文献の紹介を含む）を主要教材とするが、それを補強する多様な教材を用意する。						
科目名	生物学	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	水野暁子			
生物の基本構造である細胞膜を中心として、生物らしい構造と機能について理解する。特に、人間とは違った構造を持つ植物について、成長、水や養分の吸収、情報伝達などの生理的機能と、細胞や組織の構造との関わりについて詳しく学習する。植物がどのような構造と機能を基にして、環境に対する適応や反応を行っているかを認識することで、酸性雨などの環境問題について考えることができるような、基礎的な力をつける。						
科目名	福祉社会入門	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目	
		担当教員	中村信次			
「福祉」という言葉は「しあわせ」を意味する。その英文であるウェルフェアは、「よりよく生きる」という意味である。福祉社会は、「いのち」「くらし」「いきがい」を大切に、人がゆたかに生きていくことを支える社会である。福祉社会を実現するためには、社会福祉をはじめとして、さまざまな分野の研究や実践が力を合わせる必要がある。これを日本福祉大学では「人間福祉複合」と呼んでいる。「福祉社会入門」では、「人間福祉複合」の観点から「福祉」への接近について学ぶ。						
科目名	実践英会話	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目	
		担当教員	影戸誠、烏山逸雄			
看護師の洋子さんがハワイの病院の視察を行うというストーリーで基本的な英会話を学ぶが、英会話だけではなく、英語を使う場面での基本情報、異文化についても学ぶ。アポイントの取り方、パスポートの取得や、英文電子メールなどの学習も行いPCの特性を生かし、単語の反復練習を行う。英語レベルは英語Ⅰを想定。単語数は1500語レベル。						
科目名	英語プレゼンテーション	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目	
		担当教員	影戸誠、烏山逸雄			
学習者に関連の深い事柄を簡単平易な英語表現で説明できるようにする。特に福祉、看護に関する事柄を英語で語れるようにする。日本の施設に海外からの訪問者があったとき、最低限の情報を与えることができると同時に、福祉に関する基本情報を語れるようにする。単語英語レベルは2000語レベルを適用。英検準2級レベル。						
科目名	インターネット演習Ⅰ	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目	
		担当教員	影戸誠、烏山逸雄			
パソコンやインターネットなどについての基本的な内容を学習する。具体的には、ワープロ、表計算ソフトの基本的な活用その他、画像の取り扱い、ネットワークを用いたコミュニケーションなどを取り上げる。基本的な事項を確実におさえることにより、道具として適切に、安心して、自分なりのスタイルで有効に活用していくことができるようになることを目指す。						
科目名	インターネット演習Ⅱ	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目	
		担当教員	影戸誠、烏山逸雄			
情報を正確に、スマートに相手に伝える。これがこの科目のテーマである。日本人は思い込みが強く、情報伝達が下手だといわれるが、方法さえわかれば効果的な情報伝達が可能である。話す組立を考え、効果的な図やグラフを使い、さらには伝達力ある話し方のポイントを学ぶ。職場や学校での魅力あるプレゼンテーションは今後ますます重要になってくる。これを機会にその手法を是非、身につけてほしい。						
科目名	社会福祉学	社精	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	明星智美		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。</li> <li>・福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。</li> <li>・福祉政策におけるニーズと資源について理解する。</li> <li>・福祉政策の課題について理解する。</li> <li>・福祉政策の構成要素（福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む）について理解する。</li> <li>・福祉政策と関連政策（教育政策、住宅政策、労働政策を含む）の関係について理解する。</li> <li>・相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。</li> </ul>						
科目名	社会学	社精	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	山口宏		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会学による現代社会の捉え方を理解する。</li> <li>・生活について理解する。</li> <li>・人と社会の関係について理解する。</li> <li>・社会問題について理解する。</li> </ul>						

科目名	心理学	社精	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	中村信次		
<p>・心理学理論による人の理解とその技法の基礎について理解する。 ・人の成長や発達と心理との関係について理解する。          ・日常生活と心の健康との関係について理解する。 ・心理的支援の方法と実際について理解する。</p>						
科目名	医学概論	社精	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	日月裕		
<p>・心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長や発達や日常生活との関係を踏まえて理解する。          ・国際生活機能分類（ICF）の基本的考え方と概要について理解する。 ・リハビリテーションの概要について理解する。</p>						
科目名	社会福祉調査論	社	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	訓覇法子、川床憲一		
<p>社会調査の歴史は長く、1800年代後半から1900年代初めにかけてのヨーロッパの貧困調査に遡り、実践及び科学としての社会福祉と重要な接点を持つ。広範囲で複雑な社会現象を調査し、分析するには多数の学際的科学を必要とするため、社会福祉分野の調査・研究には、多角的視野や複合的調査・研究方法論、分析理論が必要となる。国家試験受験資格指定科目に加えて、科学としての社会福祉を考察し、調査・研究に必要な基礎知識を習得することを目的とする。「論文作成基礎Ⅰ」や「論文作成基礎Ⅱ」のために重要な入門的科目「レポート・研究入門」を履修しようとする人にとって最低限必要な基礎科目であり、履修を勧める。</p>						

## 【専門科目：ビジネスマネジメント科目群】

科目名	マーケティング		単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	小木紀親		
<p>マーケティングとは、企業による創造的かつ独占的な市場獲得戦略である。講義では、そうした企業の様々なマーケティング戦略や市場における多様なマーケティングの現象を、とりわけ、製品戦略、価格戦略、プロモーション戦略、流通チャネル戦略などの絡みで論じていく。また、基本的なスタンスとしては、現代市場の現実的側面にスポットを当てつつ、生活者の視点からマーケティング現象をとらえることを意識したい。</p>						
科目名	財務会計		単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	内野一樹		
<p>財務会計とは、会計基準や会計慣行に規制され、企業の財政状態や経営成績に関する情報を作成し外部の利害関係者に報告することを意味する。「会计学」の発展科目として位置づけられる本講「財務会計」では、日本の会計制度に基づいて、会計規制の体系、財務諸表の様式とその意義、固定資産会計、繰延資産会計、引当金会計、費用・収益の認識基準、財務諸表の監査、連結財務諸表、ディスクロージャーの拡大化などを取り上げる。</p>						
科目名	管理会計		単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	内野一樹		
<p>管理会計とは、通常、企業の内部で利用される会計で、主に戦略・計画と統制、または意思決定と業績管理に役立つ会計であると説明できる。戦略・計画または意思決定に役立つ会計とは、戦略や計画の意思決定に必要な情報を、経営者または管理者に提供する会計である。一方統制または業績管理に役立つ管理会計とは、管理者の行動に影響を与えるための目標設定や実績評価に役立つ情報を経営者または管理者に提供する会計である。こうした管理会計は、企業（営利組織）はもちろん、病院や福祉施設等の非営利組織でも利用されている。</p>						
科目名	企業ファイナンス		単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	津森信也		
<p>企業ファイナンスは企業経営のみならずすべての企業人にとり必須の知識であることは欧米においては常識であるが、日本でもようやく認識されるに至っている。また、その基本は営利経営のみならず非営利経営においても特に変わるものではない。組織の運営には資金が不可欠であり、資金が不足すれば最終的には組織は成立し得ない。資金不足は経営の問題でもあるから企業ファイナンスは企業経営と多くの点において共通する。そこで、企業活動における資金という観点から基本を理解し、次第に現代ファイナンス理論の実務面への応用を中心に進めることになる。理論に偏ることはない。内容的には、資金の調達運用の実務知識、企業のリスク管理、キャッシュフローとその割引現在価値、デリバティブ等を理解し、価値創造経営と企業分析手法を中心に応用編を学ぶ。</p>						
科目名	労働法		単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	青山幸司		
<p>技術革新や経済動向の変化、産業構造の変化、社会構造の変化などの様々な要因により、労働者の置かれる環境は常に変化を繰り返してきた。今もその変化の波は押し寄せている。労働法もその変化に対応すべくその姿を変えてきた。労働基準法は制定されてから幾度も改正を繰り返している。近年では、均等法の大きな改正がなされたし、労働契約法も制定された。労働者派遣法の改正も近日行われる。この変化し続ける労働法の「今」を切り取り、これを知ること、「今」につながる過去を知ることがこの講義の目的である。そして「今」は、未来につながるものであり、その未来においてあるべき労働法の姿もそこから思いいたすことができるだろう。          本講義は、これまでに蓄積された労働法の判例、学説について学び、労働法の基本的な知識、基本的な考え方を学ぶ場として利用してほしい。</p>						

科目名	経営組織と戦略	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	張淑梅		
<p>本テキストは、組織とは何か、優れた組織の動き方、特徴を、組織論と経営戦略論の視点から学ぶことを目的とする。まず現代社会の基礎的構成要素としての組織の行動や構造、変化のメカニズムを説明する。次に組織を環境との相互作用をもつオープンシステムと認識し、激動する環境の変化に対応するための経営戦略、組織変革、さらに情報革命のもとで展開されつつある新しい組織と戦略について事例を交えて論じていく。</p>					
科目名	ベンチャー経営	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	柳在相		
<p>まずは日本におけるベンチャー企業を取り巻く経営環境に着目し、とりわけアメリカとの比較を通して、いかにしてより多くのニュービジネスを生み出すかについての議論を展開する。そして、セコムやヤマト運輸のような目覚ましい成長をおさめているベンチャー企業に焦点をあて、その創業から今までの成長プロセスを詳細に考察していく。これらのベンチャー企業の成長プロセスにはどのような阻害要因が存在し、それぞれの阻害要因をいかにして克服することができたかに注目することによって、ベンチャー企業の経営（企業家精神及び戦略的発想、事業仕組の構築、組織デザインなど）についての理解を深めていきたい。</p>					
科目名	環境ビジネス	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	向井征二		
<p>21世紀は環境の世紀といわれるが、営利・非営利を問わず、いかなる事業体にとっても環境は、それを抜きにしては経営戦略が成り立たない程の最も重要なキーワードになっている。利害関係者への経営情報開示とコミュニケーション、環境配慮型製品設計、グリーン調達、環境汚染防止への企業の社会的責任など、環境を軸に事業展開する場合に求められる諸要素を、ISO規格など環境関連の国際的規範を交えて検討するとともに、内外の環境ビジネスの事例を研究する。</p>					
科目名	医療福祉ビジネス	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	後藤芳一		
<p>社会構造や消費者意識の変化が進み、医療・福祉事業をめぐるニーズは、かつてない速さで変化している。国も、財政制約の下でサービスの質を維持するよう模索している。これを受け、制度の改革が急速に進んでいる。一方、従来の医療・福祉事業は、公的制度のもとで収入が保障され、外的環境に受け身で対応する傾向があった。今後は、固有の環境を踏まえた経営のあり方が事業の存続を決める。それには、サービス提供者として受け手から支持されるよう、経営を組み立てる必要がある。本講は、医療・福祉サービスの専門家が、自ら状況を判断して進路を構築できるよう、経営の基本的な枠組を整理する。</p>					

## 【専門科目：コミュニティマネジメント・国際協力科目群】

科目名	NPO論	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	雨森孝悦		
<p>従来、政府機関や企業の陰に隠れ、マイナーな存在でしかなかった民間非営利組織の独自の性格と社会的役割について考える。中心的な問題関心は、なぜ民間非営利組織が必要なのかということであり、高度成長期以後の日本の社会運営のあり方、とくに公益性の判断や担い手という点に着目する。公益法人等の他、NPOといわれる特定非営利活動法人や一般の市民団体について、企業や行政との関係、国際比較等の視点から考察する。</p>					
科目名	コミュニティマネジメント	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	生江明		
<p>この科目では、内外の様々なコミュニティマネジメントの事例を通して、コミュニティとは何であるのか、そしてそのマネジメントとはいかにあるべきなのかを考察する。社会的存在である人間たちが、そのより良き人生の実現のために自然と社会資源をいかに組織化し、豊饒化していくかというプロセスは、行政サービスの客体としての人間ではなく、コミュニティのマネジメント主体としての人間たちをこれらの事例の中に、そしてその社会哲学の中に見出すことになるだろう。</p>					
科目名	地域環境計画	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	阿蘇裕矢		
<p>人間の生活と環境について考察し、その調和を図っていくためのマネジメント方策について論ずる。特に、コミュニティレベルから、都市・農山村、地域空間レベルにおける環境問題に着目し、主としてこれまでに行われてきた環境計画の方法を学ぶとともに、人間にとって求められる環境のあり方について歴史的な考察を行う。さらに、空間のレベルや環境の特性に合わせた環境計画の手法、施策、政策等について論じ、これからの環境計画のめざすべき方向、主体間の連携や合意形成等のあり方について考察する。</p>					
科目名	国際開発	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	雨森孝悦、穂坂光彦		
<p>この科目では、発展途上国の開発と開発協力について学習する。始めに「開発とは何か」「これまでどのような開発戦略がとられてきたか」という基本的な問いから入り、貧困、環境、ジェンダー、住民参加などの重要な視点から開発について学習する。次いで経済開発や社会開発の諸分野を個別に学び、さらに開発に関わる国際協力について学んだ後、グローバル化が進展する中での国際開発の将来方向について考える。</p>					

科目名	環境と開発	単位数	4単位	科目形態	テキスト・オンデマンド併修科目
		担当教員	斎藤千宏		
1990年代は、国際社会で持続可能な発展（sustainable development）が唱導された10年間であった。本科目では、地球温暖化防止、生物多様性の保全という21世紀において決定的に重要になる二つの課題に対して、各国政府や国連、多国籍企業、地方自治体、NGO・NPOがどのような取り組みをしているのか、具体的な事例を通して考察を進める。また途上国民衆の視点から、持続可能な発展に向けての市場メカニズムの活用が、どのように効果的に機能するか（しないのか）についての分析を加える。					
科目名	国際福祉開発	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	斎藤千宏		
人々の福祉が高まるためには、政府行政、市場制度、地域社会の住民力、NGO／NPOなどの市民力が効果的に影響しあうことが必要であるとの視点に立ち、途上国において女性、教育、保健医療、障害者などの分野でどのような試みがなされているのかを、多くのゲストによる講義を通して学ぶ。					
科目名	福祉社会開発の支援ワーク	単位数	1単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	穂坂光彦、吉村輝彦		
「福祉社会開発支援ワーカー」は、地域社会に働きかけ、新たな福祉プログラムが開発される方向へ地域社会の関係変容を促す「コミュニティ変化の触媒役 changeagents」である。専門職として確立されずに多様な立場の人々に実質的に担われているとはいえ、この役割を果たすには、やはり固有のスキルが必要である。しかしその方法論が確立しているとはいえない。この科目では、既存のソーシャルワークの到達点と限界を踏まえ、新たな方向性へのキーワードを広義の「まちづくり」ととらえる。そして現場の生きた素材を基に、さまざまな既存の専門職がどのような発想とスキルによって「地域」にアプローチしたかを、受講者に考えさせる。いくつかのロールモデルに関する議論を通じて、受講者自身の主体形成を促すのが目的である。					

### 【専門科目：医療・福祉マネジメント科目群】

科目名	福祉社会システム論	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	訓覇法子		
講義の目的とレベルは二つである。1) 世界先進国における社会政策の国別による分類（モデル）を軸にして、国際比較研究的視点から日本の福祉社会システムを社会的に考察するとともに、方法論的に分析する。2) 高齢者人口の増加により、世界の先進国が高齢者社会に直面する現在、福祉国家・社会システム分析において介護国家・介護社会というあらたな概念が必要とされる。したがって、介護社会としての日本の社会システムの現状分析を課題として、国際比較研究的視点から有意義と思われる概念や理論の考察を行う。					
科目名	医療政策論	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	李折		
わが国の医療制度は高齢社会を迎えて、大きな転換期にある。「いつでも、どこでも、誰でもが安心して医療をうけられる」という目標の実現が、高齢化と低成長経済の下で困難となっているからである。医療サービス自体もかつての感染症時代から成人病・生活習慣病へと推移する中で、公平と効率の観点から医療制度に関わる「人」「物」「金」のすべてにおいて、その改革が迫られている。臓器移植に象徴される高度先進医療への大きな期待とともに、高齢者の長期ケアのための医療と福祉を接合した介護保険制度の創設など、患者の自己決定やQOL（生活の質）の向上などの新しい動きをふまえて、医療政策のあり方は国民の健康の維持と増進に大きく影響している。本講義では、戦後の医療政策の展開と今後の課題・方向について学んでいく。					
科目名	医療経済学	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	大内講一		
少子・高齢社会の日本は、保健医療システムの転換期にある。医療政策の観点からすると、医療保険財政が厳しさをくわえるなかで「効率」かつ「公正」な医療供給システムを、どのようにして構築していくかが問われている。また、医療の従事者や経営者の視点でみるならば、医療保険システムの変革期は新たなビジネス・チャンスをつかむ好機でもある。本講では、希少資源の効率的な配分を重視する経済学の視点から、医療施設の供給行動、家計の医療需要行動、および保険者の役割について解説・評価する。また、「効率」かつ「公正」な医療サービス供給を実現するのに必要な政策について論じる。					
科目名	医療福祉経営論	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	中島明彦		
医療福祉施設の経営は企業の経営理論をそのまま当てはめようとしても困難である。その理由は医療福祉サービスの持つ専門性や公共性という特性、サービスを提供する専門職の自律性、組織が専門職組織であること、事業が制度や政策に大きく依存することなどがあげられる。本講ではこれらを踏まえて医療福祉経営の基本的視座を提供しようとする。					
科目名	医療・福祉サービス論	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	近藤克則		
本講義では、医療福祉サービスのあり方やその質を高める方法、それらを考える上で必要な基礎知識を学ぶ。健康に関連するQOL（Quality OfLife、生活・人生の質）や、国際生活機能分類（ICF）、ケアマネジメント、チームマネジメント、福祉事業者、政策レベルまで取り上げる。これらすべてにおいてマネジメントの考え方が有用であること、一方で医療福祉における特異性を学ぶ。					

科目名	非営利マーケティング論	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	井上崇通			
<p>非営利マーケティングとは、主として非営利組織に一般企業のマーケティングの戦略および手法の視点を取り入れ、各非営利組織独自のマネジメント活動に役立てることを意図するものである。しかし、非営利組織は一般企業とは当然異なるものであり、非営利組織のなかでもその特性などによりマーケティングの戦略および手法の取り扱いは異なる。特に、講義では、そうした点に鑑み、各非営利組織の分類から始め、各々に適するマーケティングの戦略および手法、非営利組織を巡る動向を論じていく。</p>						
科目名	社会福祉法人会計	単位数	4単位	科目形態	テキスト・オンデマンド併修科目	
		担当教員	内野一樹			
<p>措置制度から介護保険制度へ制度変更された2000年度に、全ての社会福祉法人に原則的に適用される会計基準として、企業の会計基準と類似する（旧）社会福祉法人会計基準が制定されている。しかし、社会福祉法人の特定の事業に対しては、同基準以外に別個に会計の指針や準則が制定されたため、社会福祉法人に適用される会計の規定が複数存在する状況となった。この状況を改善する会計基準の統一化を目指し、また企業の会計基準により一層類似させる（新）社会福祉法人会計基準が、2011年に制定され、2012年度から同会計基準の適用が可能となっている。（新）社会福祉法人会計基準に基づく具体的な簿記処理から同会計基準の基本的思考や特徴までを説明する。</p>						
科目名	社会福祉援助技術論Ⅰ	社	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	明星智美		
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）と意義について理解する。</li> <li>精神保健福祉士の役割と意義について理解する。 ・相談援助の概念と範囲について理解する。</li> <li>相談援助の理念について理解する。 ・相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。</li> <li>相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解する。 ・総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する</li> </ul>						
科目名	社会福祉援助技術論Ⅱ	社	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	安藤健一		
<ul style="list-style-type: none"> <li>相談援助における人と環境との相互作用に関する理論について理解する。 ・相談援助の対象と様々な実践モデルについて理解する。</li> <li>相談援助の過程とそれに係る知識と技術について理解する（介護予防サービス計画、居宅サービス計画や施設サービス計画及び障害者自立支援法によるサービス利用計画についての理解を含む）。</li> </ul>						
科目名	社会福祉援助技術論Ⅲ	社	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	小松尾京子		
<ul style="list-style-type: none"> <li>相談援助における事例分析の意義や方法について理解する。 ・相談援助の実際（権利擁護活動を含む）について理解する。</li> </ul>						
科目名	地域福祉論	社精	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	山本克彦		
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉の基本的考え方（人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂等を含む）について理解する。</li> <li>地域福祉の主体と対象について理解する。 ・地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。</li> <li>地域福祉におけるネットワーク（多職種・多機関との連携を含む）の意義と方法及びその実際について理解する。</li> <li>地域福祉の推進方法（ネットワーク、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む）について理解する。</li> </ul>						
科目名	福祉行財政と福祉計画	社精	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	田嶋香苗		
<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉の行財政の実施体制（国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む）について理解する。</li> <li>福祉行財政の実際について理解する。 ・福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する。</li> </ul>						
科目名	福祉経営論	社	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	田島誠一、元岡征志		
<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉サービスに係る組織や団体（社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会など）について理解する。</li> <li>福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論について理解する。 ・福祉サービスの経営と管理運営について理解する。</li> </ul>						
科目名	社会保障論	社精	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	李忻		
<ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会における社会保障制度の課題（少子高齢化と社会保障制度の関係を含む）について理解する。</li> <li>社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する。 ・公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。</li> <li>社会保険制度の体系と概要について理解する。 ・年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解する。</li> <li>諸外国における社会保障制度の概要について理解する。</li> </ul>						

科目名	高齢者に対する支援と介護保険制度 <b>社</b>	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	杉本浩章		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉、介護需要（高齢者虐待や地域移行、就労の実態を含む）について理解する。</li> <li>・高齢者福祉制度の発展過程について理解する。・介護の概念や対象及びその理念等について理解する。</li> <li>・介護過程における介護の技法や介護予防の基本的考え方について理解する。・終末期ケアの在り方（人間観や倫理を含む）について理解する。</li> <li>・相談援助活動において必要となる介護保険制度や高齢者の福祉・介護に係る他の法制度について理解する。</li> </ul>					
科目名	障害者福祉論 <b>社精</b>	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	綿祐二		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉や介護需要（地域移行や就労の実態を含む）について理解する。</li> <li>・障害者福祉制度の発展過程について理解する。</li> <li>・相談援助活動において必要となる障害者自立支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解する。</li> </ul>					
科目名	児童福祉論 <b>社</b>	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	安藤健一		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童や家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要（子育て、一人親家庭、児童虐待及び家庭内暴力（D.V）の実態を含む）について理解する。・児童や家庭福祉制度の発展過程について理解する。・児童の権利について理解する。</li> <li>・相談援助活動において必要となる児童・家庭福祉制度や児童・家庭福祉に係る他の法制度について理解する。</li> </ul>					
科目名	公的扶助論 <b>社精</b>	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	明星智美		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際について理解する。</li> <li>・相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に係る他の法制度について理解する。</li> <li>・自立支援プログラムの意義とその実際について理解する。</li> </ul>					
科目名	保健医療サービス <b>社精</b>	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	上山崎悦代、神林ミュキ		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助活動において必要となる医療保険制度（診療報酬に関する内容を含む）や保健医療サービスについて理解する。</li> <li>・保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種協働について理解する。</li> </ul>					
科目名	就労支援サービス <b>社</b>	単位数	1単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	石井浩		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度について理解する。・就労支援に係る組織、団体及び専門職について理解する。</li> <li>・就労支援分野との連携について理解する。</li> </ul>					
科目名	権利擁護と成年後見 <b>社精</b>	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	鷺野林平		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助活動と法（日本国憲法の基本原理、民法・行政の理解を含む）との関わりについて理解する。</li> <li>・相談援助活動において必要となる成年後見制度（後見人等の役割を含む）について理解する。・成年後見制度の実際について理解する。</li> <li>・社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する。</li> </ul>					
科目名	更生保護 <b>社</b>	単位数	1単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	木村隆夫		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助活動において必要となる更生保護制度について理解する。</li> <li>・更生保護を中心に、刑事司法や少年司法分野で活躍する組織、団体及び専門職について理解する。</li> <li>・刑事司法・少年司法分野の他機関等との連携の在り方について理解する。</li> </ul>					

## 【専門科目：ヘルスケア・ライフマネジメント科目群】

科目名	福祉文化論	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	小惊喜一郎		
<p>社会福祉の分野で、文化という言葉の定義は不十分である。しかしながら、文化を生活としてとらえるならば、介護保険法によって医療と福祉が同じ法体系の中に把握されようとしているとき、我が国における福祉文化の今をどう読み解くかの課題は大きい。ここでは歴史学を初めとして民俗学などさまざまな人文科学分野の成果を取り入れながら、社会福祉の分野における文化とは何か考えていく。また、近年施設の生活の中で、利用者と若い職員のコミュニケーションのギャップが生まれてきている。このような現状の中に、福祉文化を介在させることで、両者のギャップの解消を図ることも併せて意図している。</p>					
科目名	死生学	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	片山善博		
<p>『生と死について学ぶ—死生学』          自らの死を経験してきたものはいない。しかし誰もが確実に死と直面することになる。それは、他人の死、かけがえのないものの死、死に逝く自分というかたちで。先人たちはそうした死と直面し、そこからさまざまな思想や世界観を生み出してきた。死がタブー化されたといわれる現代社会において、彼らの足跡をたどりながら、同時に、新しい死生観を考えていくことは、必要なことであり、有意義なことであろう。本講義では、死生学の歴史と現状、さまざまな死生観とその変遷、延命・生殖・安楽死などをめぐる生命倫理の考え方を取り上げて、死について学ぶことの重要性とその積極的な意義を示したい。「死を学ぶこと」は「生きることを学ぶこと」であるという立場から、人間としての生きることのく&lt;価値&gt;について考えたい。</p>					
科目名	生涯学習論	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	中川晴夫		
<p>生涯学習は、学習機会としては「生涯にわたる学習」（生涯継続学習）であり、学習目的としては「生涯のための学習」（生涯設計学習）である、という観点を重視する。その場合、生涯継続学習の基調は、人びとが生涯という時間を共有することの重要性、つまり世代共生の意義を教授することであり、生涯設計学習の基調は、人びとが生涯という空間を共有することの重要性、つまり地域共創の意義を教授することである。以上、世代共生と地域共創を中心に生涯学習論を展開する。</p>					
科目名	高齢者の心理	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	山口智子		
<p>急速な高齢化が進み、加齢に伴い知能は低下するのか、性格は変化するのかなど、高齢者の心理への関心が高まっている。また、高齢者支援において、高齢者個々人のニーズにこたえるためには、支援が必要な問題の理解（たとえば、認知機能のアセスメント）だけでなく、高齢者の性格、言動、経歴、家族関係などを含めた個人理解が必要である。          そこで、この科目では、①高齢者の心理を理解する視点を学び、②加齢によるさまざまな心理機能の変化を理解すること、③老年期におこりやすい心理的問題（主に認知症について）を理解すること、④高齢者に対する心理的援助方法を考えることを目標としたい。</p>					
科目名	スポーツマネジメント	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	荒深裕規		
<p>本講義では、生涯スポーツ実践に関わる個人のマネジメントや国・地域・社会・企業などが連携して行うスポーツマネジメントについて解説する。前半の講義では、ライフサイクルに応じたスポーツ実践の考え方および具体的方法について触れる。後半の講義では、スポーツを取り巻く社会環境について触れ、スポーツが果たす社会的役割について考察する。</p>					
科目名	福祉情報技術	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	中邑賢龍		
<p>アシスティブテクノロジー（Assistive Technology：以下、AT）は、日本では「福祉用具」「支援技術」といわれる分野であり、「障害を持つ人の生活を助けるテクノロジー」を意味する。車いす、自助具、コミュニケーション機器等あらゆる生活場面で利用される福祉用具や住宅・まちづくり等の環境整備は、ATの役割でもあり、最近ではコンピュータを利用した「e-AT（福祉情報技術：以下、e-AT）」も一般化しつつある。この講義では実際の相談導入・利用事例の概説を含め、e-ATの概要を学ぶ。</p>					
科目名	リハビリテーション医学	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	近藤克則		
<p>リハビリテーション（以下リハ）医学には、従来の（疾患を対象とし、治癒を目的とした）医学とは異なり、障害をも対象とし、「全人間の復権」（上田）を目的としているという特徴がある。現場での体験に乏しい学生諸君にも、具体的イメージが湧きやすいよう、総論と各論の両面から、具体的症例や実践例を、ビデオなども用いて紹介する。          &lt;学習目標&gt;          1. 障害を持ちながらも“人間らしく生きること”を援助するリハ医学の理念を説明できる。          2. リハビリテーションに関わる福祉職と他職種の役割を説明できる。          3. PT・OT・STとは何かを説明できる。          4. 脳卒中のリハを例に、リハビリテーションの流れを説明できる。</p>					

科目名	障害児心理学	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	近藤直子		
<p>障害のある子どもが示す様々な問題（偏食・こだわり・多動等）にとりくむために、障害児の心理を理解する“手がかり”について学習する。</p> <p>&lt;学習目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害児の発達を援助するための制度・施策の基礎知識</li> <li>2. 現在とりくまれている障害児のための主な療育方法に関する知識</li> <li>3. 障害児の行動を理解するための視点</li> </ol>					
科目名	健康格差社会	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	近藤克則		
<p>本講義では、「健康・幸福に影響する社会的要因」の解明に取り組む「社会疫学（social epidemiology）」が明らかにしてきたことを元に、私たちの健康・幸福（well-being）がどのような要因によって決まるのか、日本にどの程度の「健康格差」が見られるのか、なぜ健康格差が生まれるのか、その背景や原因、プロセスを解き明かすこと、ストレスに満ちた社会をたくましく生き抜く方法を考えること、「健康によい環境」、それをつくるための社会（保障）政策の大切さについて考える。</p>					
科目名	産業組織心理学	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	山口智子		
<p>現代社会に生きる人々は、価値観が多様化し、働き方や生き方を選択できる自由を得た反面、その選択に不安を感じている。人々にとって働くとはどのような営みであろうか。情報化、グローバル化が進む現在、働く人々のストレス、うつ、休職と復職などが問題となっている。</p> <p>講義の目標は、(1) キャリア発達理論など産業組織心理学の知識、(2) メンタルヘルスに関する知識や実践、(3) 超高齢社会で活躍が期待される対人援助職の感情労働やストレスケアを学び、「いきいき働く」ことを考えることである。</p>					
科目名	シルバーファイナンス	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	川床憲一		
<p>シルバーファイナンスという言葉は聞きなれない単語であろう。直訳すると、「歳寄りの財政」とでもなるが、ここでは「高齢者に必要な金融の知識やそれに関連する税金、医療、保険、年金などの知識をトータルで身につける科目」と規定したい。</p> <p>「人生は有料道路」という言葉もあるが、生きている限り散財は避けられない。如何に上手に儉約するかも課題の一つである。儉約と吝嗇は違う。本科目で堂々と、そして楽しく儉約することを学んでほしい。</p>					
科目名	精神医学	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	岡田和史		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解する。</li> <li>・精神科病院等における専門治療の内容及び特性について理解する。</li> <li>・精神保健福祉士が、精神科チーム医療の一員として関わる際に担うべき役割について理解する。</li> <li>・精神医療・福祉との連携の重要性と精神保健福祉士がその際に担うべき役割について理解する。</li> </ul>					
科目名	精神保健学	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	舩松克代		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神の健康についての基本的考え方と精神保健学の役割について理解する。</li> <li>・現代社会における精神保健の諸課題と、精神保健の実際及び精神保健福祉士の役割について理解する。</li> <li>・精神保健を維持、増進するために機能している、専門機関や関係職種との役割と連携について理解する。</li> <li>・国際連合の精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について理解する。</li> </ul>					
科目名	精神保健福祉相談援助の基盤	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	行實志都子		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉士の役割（総合的包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発を含む。）と意義について理解する。</li> <li>・社会福祉士の役割と意義について理解する。 ・相談援助の概念と範囲について理解する。</li> <li>・相談援助の理念について理解する。 ・精神保健福祉士が行う相談援助の対象と相談援助の概要について理解する。</li> <li>・精神障害者の相談援助に係る専門職の概念と範囲について理解する。</li> <li>・精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。</li> <li>・精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。</li> </ul>					
科目名	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	吉田みゆき		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神医療の特性（精神医療の歴史・動向や精神科病院の特性の理解を含む。）と、精神障害者に対する支援の基本的考え方について理解する。</li> <li>・精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する。</li> <li>・精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーション（精神科専門療法を含む。）の知識と技術及び活用の方法について理解する。</li> </ul>					

科目名	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	精	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	齊藤晋治		
<ul style="list-style-type: none"> <li>精神障害者を対象とした相談援助技術（個別援助、集団援助の過程と、相談援助に係る関連援助や精神障害者と家族の調整及び家族支援を含む。）の展開について理解する。</li> <li>精神障害者の地域移行支援及び医療機関と地域の連携に関する基本的な考え方と支援体制の実際について理解する。</li> <li>精神障害者の地域生活の実態とこれらを取り巻く社会情勢及び地域相談援助における基本的な考え方について理解する。</li> <li>地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワーク（地域相談援助に係る組織、団体、関係機関及び専門職との連携についての理解を含む。）の実際について理解する。</li> <li>地域生活を支援する保健・医療・福祉等の包括的な支援（地域精神保健福祉活動）の意義と展開について理解する。</li> </ul>						
科目名	精神保健福祉に関する制度とサービス	精	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	青木聖久		
<ul style="list-style-type: none"> <li>精神障害者の相談援助活動と法（精神保健福祉法）との関わりについて理解する。</li> <li>精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容について理解する。</li> <li>精神障害者の支援において係わる施設、団体、関連機関等について理解する。</li> <li>更生保護制度と医療観察法について理解する。 ・社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を理解する。</li> </ul>						
科目名	精神障害者の生活支援システム	精	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	青木聖久		
<ul style="list-style-type: none"> <li>精神障害者の生活支援の意義と特徴について理解する。 ・精神障害者の居住支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する。</li> <li>職業リハビリテーションの概念及び精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談援助活動（その他の日中活動支援を含む。）について理解する。</li> <li>行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について理解する。</li> </ul>						
科目名	ファイナンシャルプランニング総論	A	単位数	1単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	安藤朋子		
FP（ファイナンシャルプランニング）とは何か、FPの歴史と現状や社会的役割、手法と知識、諸領域、コンプライアンス等を学ぶ。また、ファイナンシャルプランナーの業務内容や進路、具体的なスキルの身に付け方についても学習する。FPの技術を活かせる業界やそれを取り巻く環境を知ることにより、ファイナンシャルプランナーとしてのキャリアイメージを明確にする。						
科目名	金融資産運用設計	A	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	栗本修己		
個人のライフプランを実現するためには、財政上の裏づけとして資金が必要になる。必要な資金は具体的な金融商品で管理・運用する必要があるが、そのためには商品を選択するための周辺知識が必須となる。そこで、経済・金融動向の見方、預貯金、金融類似商品、投資信託、債券、株式、デリバティブなどの商品知識とともに、アセットアロケーション、ポートフォリオ、リスク分散の考え方を学び、金融資産の管理運用法を習得する。						
科目名	不動産運用設計	A	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	安藤朋子		
不動産は、生活の本拠として、あるいは資産として、ライフプラン上の重要な位置を占める。この科目では、不動産について、売買、貸借、所有、活用、投資など様々な場面で必要となる広範囲な知識を学習する。具体的には全体を3つの領域に分け、まず不動産の見方と不動産に関わる様々な法律の規定を、次いで不動産に関わる税金の種類と内容、不動産投資・有効活用の手法を学び、生活者が不動産と上手につきあっていくための実用知識を習得する。						
科目名	ライフプランニングと資金計画	A	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	加藤美晴		
ファイナンシャルプランニングの中心的な科目である。学習領域は大きくライフプランニングとリタイアメントプランニングに分かれる。前者では、ライフプランニングの考え方、家計のキャッシュフロー分析手法に始まり、ライフプラン上の重要テーマである住宅資金設計、教育資金設計等について学ぶ。後者では、労働保険、医療保険、公的年金という各種の社会保障制度の仕組みを理解し、老後の資金設計の考え方を習得する。						
科目名	リスク管理と保険	A	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	加藤恵子		
現代社会におけるリスクには様々なものがある。ファイナンシャルプランニングにおいては、それらのリスクに対して保険という手段を用いてリスクを移転するという保証・補償設計が必要となる。この科目では、その観点から、リスクマネジメントの考え方、保険制度、生命保険と損害保険の仕組み、それぞれの分野の具体的な商品の種類と内容を学び、保険を活用したリスクマネジメントの手法を習得する。						
科目名	タックスプランニング	A	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	角田圭子		
ファイナンシャルプランニングにとって、可処分所得を把握する上で税の知識は欠かすことができない。初めにわが国の税制を体系的に理解し、中でも個人のライフプランニングに欠かせない所得税を中心に、個人住民税、個人事業税、法人税、法人住民税、法人事業税、消費税等を学ぶ。特に所得税についての知識は重要であるため、その仕組みから、税額計算、申告納付までを体系的に学び、最終的には具体的な税額計算ができるようになるまで理解を深める。						

科目名	相続・事業承継設計	A	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	佐藤正明		
<p>ライフプランの終着点である死亡時の財産処分と、それに伴う税務上の取り扱いを学習する。相続はすべての人に共通のライフイベントであるが、知識不足からトラブルになることが少なくない。そこで、まず相続人の範囲と相続分、相続を放棄する場合の手続き、遺言の作成方法など、民法の知識を学習する。また、遺産額が一定規模以上になると相続税が課税され、相続税対策が重要なテーマとなるため、相続税の基本的な仕組み、節税対策の考え方をあわせて学習する。</p>						
科目名	ファイナンシャルプラン作成	A	単位数	1単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	安藤朋子		
<p>FP（ファイナンシャルプランニング）実務において「商品」となる提案書（プラン）について、その意義と位置付けを理解し、ライフイベント表・キャッシュフロー表・バランスシートの作成、保険の見直しや資産運用の提案といった提案書の内容と作成手順を学習する。最終的には、与えられた課題に基づき、実際に提案書を作成し、提案書作成技術の習得を目指す。</p> <p>※別途、設定する期間において「提案書」の提出による実技試験を行います。</p>						

## (2) スクーリング科目

スクーリング科目一覧は (P. 120) を参照してください。

### 【基礎科目】

科目名	福祉経営序論	必	単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
			担当教員	福祉経営学部長		
<p>①導入課程として福祉経営学部（通信教育）の専任教員による対面授業を受け、教員の人となりを知る</p> <p>②本スクーリングを通じて学習の全体の見取り図を得る</p> <p>③大学における学び方を知り、学習意欲を高める</p> <p>通信教育という形態で学習を進めるうえで最も大きな課題は、孤独な環境のなかで学習の動機づけを長期にわたって維持することである。この困難を乗り越えるうえで、先の見通しをもつこと、学友や教員の励ましを得ることが大きな力となることがわかっている。このスクーリングはそのためのものである。</p>						
科目名	スタートアップセッション	必	単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
			担当教員	学習指導教員		
<p>※正科生・特修生のみ履修可能</p> <p>通信教育での学び方を知って体験しよう ― 安心して学習をスタートするために学習を円滑に始められるように、学習方法や学習計画の立て方などについて学ぶ</p> <p>講義目的は、以下の3つがあげられる。</p> <p>①開講されている科目形態に応じた学習方法を理解する。</p> <p>②単位修得までの一連の流れとして、テキストの読み方、オンデマンド講義の視聴方法、添削課題・小テスト・科目修了試験への取り組み方を知る。</p> <p>③卒業するまでを念頭においた学習計画を立てる。</p>						
科目名	フォローアップセッション		単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
			担当教員	学習指導教員		
<p>※正科生・特修生のみ履修可能</p> <p>学習不安を解消し、学習を継続するための方法を知る</p> <p>①効果的な学習方法を知る。</p> <p>②学習上の不安を取り除き、目標を再確認し、学ぶ意欲の向上を図る。</p> <p>③学びを仕事や生活に活かす方法を講師から学ぶ。</p>						
科目名	障害者スポーツ研究		単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
			学年配当	3年	担当教員	荒賀博志
<p>※正科生のみ履修可能、追加登録不可</p> <p>障害者にとってスポーツとは何かを考える</p> <p>障害がある人こそスポーツを行うべきではないか。スポーツは、競技性だけではなく、気軽に行い、継続していくことで健康維持・増進、体力の向上につながるものである。その他にも人とつながるためのコミュニケーション手段としても非常に効果的である。障害に合わせてルールを変更したり、方法を工夫することにより、いろいろなスポーツを行うことができる。このことから障害がある人も、自分は「できる!」という自信を持つこともできると考える。本科目では、障害がある人がスポーツを通じて「生きがい」を感じ、積極的に社会参加を行えるきっかけ作りを行うことが、障害者スポーツ指導員の役割であることを理解する。</p> <p>できることを見えていますか</p> <p>障害があると、どうしてもできないところを見えてしまうのでは…。障害がある人がスポーツを行うときは、「できるところ」を引き出していく考え方が大切である。スポーツを通じて、障害がある人の可能性を引き出す「できるところ」を見つける目を養うことが、本科目の目的である。</p>						

**必**：必修科目です。オンデマンド科目、スクーリング科目のいずれかを履修してください。

## 【専門科目】

科目名	レポート・研究入門	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	調覇法子		
<p><b>科学としての社会福祉と科学的な文章の書き方</b>  科学とは何かを理解し、さらになぜ社会福祉学が、他の学問分野の学問的成果を必要とする学際的科学・複合的科学の性格をもつのかを理解する。科学的なテキストとは何か、どのような種類があるのか、レポートとは何なのかを明確にし、理解する。レポートや仕事文・実践記録などを科学的な文章にするために要求される条件は何なのかという基礎知識を修得する。</p> <p><b>研究の基本的過程と結果報告書の作成原則</b>  調査・研究の基本的過程と構造を理解する。研究問題策定の仕方、問題策定に必要な不可欠な先行研究を読み込むことがなぜ重要なのかを理解する、必要な先行研究の検索、選択の仕方や読み方、調査結果をまとめる報告書（レポート）の構造立てと要求される作成原則や留意点は何かという基礎知識を習得する。</p>					
科目名	論文作成基礎Ⅰ	単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	穂坂光彦		
<p><b>研究計画の書き方を学ぶ</b>  この学部で研究論文（卒論）に取り組もうとする人は、まず「研究計画」を提出し、自分が論文指導を希望する教員による審査を受けねばならない（研究論文指導は、通信制には珍しい個別指導である）。何に注意して、どのように研究計画をつくるべきか。この講義では、まず研究課題の設定の仕方に重点を置いて、その方法を説明する。</p> <p><b>リサーチの企画・取材のコツを知る</b>  研究論文に限らず、みなさんの職場で「レポート」を作成する際にも、どのような方法で何を調べるかを決め、関係者に取材し、必要な資料を集め、そして文章にする、というプロセスをとる。そこには研究論文にもレポート作成にも共通する方法やコツがある。それを学ぶこともこの科目の目的である。</p>					
科目名	論文作成基礎Ⅱ	単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	穂坂光彦		
<p><b>研究計画を完成する</b>  大学生生活最終年度に研究論文（卒論）に取り組む人は、前年11月に研究計画（つまり論文完成のためのアクションプラン）を提出して審査を受ける。このスクーリングでは、審査に通る最低限の要件を満たすような研究計画を実際につくりながら、論理的な構成をもつ研究構想に仕上げていく。</p> <p><b>論文やレポートの書き方のコツを知る</b>  原則として、研究論文執筆予定の人を対象とするが、みなさんが職場で「レポート」を執筆するケースも想定しながら、論理的な表現や文章作成の作法を身につけられるようにする。また、ものごとを論理的に論証する方法として、量的調査、質的調査の一端を解説する。</p>					
科目名	研究論文指導	単位数	4単位	科目形態	スクーリング科目
		学年配当	4年	担当教員	（調整中）
<p>何らかの問題意識をもち、自らテーマを定めて、それについて研究する学生を対象とした科目である。各担当教員のもとで、テーマに応じた適切な方法論、論文構成や内容について、個別にアドバイスを受けながら、最終的に論文を作成する。履修にあたっては、希望する指導教員を指定し、小論文等の課題選考（面接含む）に合格し、一定数以上の単位が修得済みであることが条件となる。なお、別途開講する「レポート・研究入門」「論文作成基礎Ⅰ」「論文作成基礎Ⅱ」「社会福祉調査論」は、本科目のための導入科目として位置づけられており、これらは必修ではないが、「研究論文指導」を履修するうえで、事前の履修を推奨する。</p>					

## 【専門科目：ビジネスマネジメント科目群】

科目名	日本企業の経営・会計	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	徳前元信		
<p><b>企業の会計の基礎知識を学ぶ</b>  企業の会計や経営分析とは何か。特に貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書とは何かを説明する。加えて日本の大企業全体の会計の概要について説明する。</p> <p><b>日本の大企業の実例から、その経営・会計と労働・管理の特徴を理解する</b>  最初に日本の大企業全体の現状を説明し、実際に経営分析の方法により分析の演習を行う。そして大企業全体の経営と会計の特徴を説明する。次に日本の大企業における会計方法の利用状況とその方法の特徴を説明し、新聞記事等を利用して大企業の会計の特徴を説明する。さらに日本の大企業における生産システムを説明し、その生産システムと会計との関係を説明する。最後に日本の大企業における労働現場の実態を説明し、工場労働者の労働と管理の特徴を説明する。</p>					
科目名	ビジネス文書とプレゼンテーション	単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	川床憲一		
<p><b>日本語の基本的理解、ビジネス文書の要件、プレゼンの基本的理解</b>  日本語とはどんな言語なのか？その中でビジネス文書にはどんな種類があり、どんな基本構造なのか？プレゼンテーションの意味と道具類にはどんなものがあるのか？などを理解し、身につける。</p> <p><b>企画書作成の演習</b>  具体例をベースにして、最良の企画書を実際に作成する作業を通じて、現場に戻った時に実践できるレベルの力を、身につける。</p>					

## 【専門科目：コミュニティマネジメント・国際協力科目群】

科目名	地域再生	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	雨森孝悦		
<p>地域衰退の実態から、目を逸らさずに凝視する 地域の衰退は今や中山間部など条件不利地に限られない。高齢化の進展とともに、大都市部でも見られる。それは一過性のもではなく、構造的な原因をもつため、今後さらに大きな問題となり、福祉社会の脅威となる。そのことを冷静に受け止め、理解するのが再生のための第一歩である。</p> <p>地域再生について、創造的に考える 各地の先進的な取り組みやゲスト講師の経験から学び、既存の枠を超えて考えるようにする。</p>					
科目名	国際開発と貧困問題	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	雨森孝悦		
<p>途上国の人々や国際社会の視点から、貧困緩和に向けた活動を理解する とくに市場における活動を通じて貧困を減らす方策について、その限界も含めて理解するのがこのスクーリングの大きな目的である。グローバリゼーションや規制緩和を背景として、世界では市場を通じた経済活動が活発になり、極度の貧困に陥っている人は減少している。しかし、新興国の内部での格差はむしろ拡大している。その一方で、ビジネスを通じて貧困から抜け出せるようにしようという大きなうねりもある。こうしたことを、途上国の人々の視点や国際社会の動きから理解できるようにすることを旨とする。</p> <p>国際開発を私たち自身の課題としてとらえる 世界では、水不足や食料問題などが貧しい人々を直撃している。グローバル化の進みで、そうした問題に私たちの生活も関わっている。問題や人々の間のつながりを理解し、われわれ自身の課題としてどのように取り組めばよいのか、手がかりとなることについてみんなで考える。</p>					

## 【専門科目：医療・福祉マネジメント科目群】

科目名	福祉の歴史	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	浅井純二		
<p>前近代から現代までの福祉の歴史を通観する 前近代から現代までの福祉の歴史を通観する中で、救済が必要な人々はそれぞれの時代においてどのように生きていたのかを考え、時代の変化と社会福祉の関連を理解する。</p> <p>現代社会における諸相を歴史から学ぶ 現代は格差社会のなかでセーフティネットが危ういといわれる。社会福祉を考えるうえで、我々は歴史から何を学ぶことができるのかを追及していく。</p>					
科目名	社会福祉政策国際比較	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	訓覇法子		
<p>国際比較手法の基礎知識 比較とは何か、比較の目的と方法に関する基礎知識を習得する。</p> <p>社会福祉政策に関する日本とスウェーデン二国間比較 現代社会の変容によって人々が遭遇する社会的事故は多様化し、先進国の中でアメリカについて貧困率の高い日本の社会保障制度は、生活の安全を守るという根幹的な機能を果たせなくなってきた。なぜなのか？日本の貧困率の3分の1という低い貧困率を維持するスウェーデンの生活安全保障制度との比較によって、国際的視点から日本の生活安全保障制度の特質とその限界性を明らかにする。スウェーデンが（北欧型）福祉国家あるいは福祉先進国と呼ばれるのはなぜか、福祉国家の条件とはなにか、日本の貧困が深刻化する理由はなにかを考察する。</p>					
科目名	社会福祉と権利擁護	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	明星智美		
<p>「権利擁護」のための法制度・法的枠組みを学ぶ 一般に権利擁護が論じられる際に取り上げられることの多い法律・制度（成年後見制度、高齢者虐待防止法、障害者虐待防止法、日常生活自立支援事業、悪徳商法対策、プライバシー保護と個人情報保護法など）の基礎を学び、それらの法制度の背後にある「権利擁護」とはどのようなものであるかを考える。</p> <p>「権利擁護」における福祉専門職の役割を考える 実践の場で権利擁護が問題となると考えられる場面について、自分がその立場にあったときに、どのように活動するかをグループワークの中で考え、その議論をふまえて「権利擁護」とは何かということを具体的に考えていく。</p>					
科目名	社会福祉法人のマネジメントと会計	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	池野谷博信		
<p>社会福祉法人の会計の基礎知識を学ぶ 社会福祉法人の会計や経営分析とは何か。特に貸借対照表、事業活動計算書、資金収支計算書とは何かを説明する。加えて同計算書類を利用した経営分析の方法を説明する。</p> <p>社会福祉法人の実例から、そこでの経営や経営改革の特徴を理解する 最初に社会福祉法人制度や社会福祉事業者の実態について説明し、介護保険制度や介護保険事業者の経営の特徴について説明する。その後、3つの社会福祉法人の経営者または管理者が、それぞれの法人の経営や経営改革の特徴を説明する。各法人の歴史的経過、事業展開の状況、理念・経営方針、短期計画・中長期計画、経営管理システム等を説明する。</p>					

科目名	医療福祉システムの理論と実践	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	李忻		
<p><b>医療保険制度の基本的仕組みについて理解する</b> 社会保険としての医療保険制度における保険者の役割、各保険制度の財政状況、医療保険給付の内容等について学ぶ。保険者の役割、保険制度の財政状況、保険給付の内容等の視点から、各健康保険組合の現状と問題点、協会管掌健康保険制度の現状と問題点、市町村健康保険制度の現状と問題点を理解することを目標とする。</p> <p><b>実践的な視点から社会福祉援助の課題を探る</b> 高齢・障がい等により、自分の権利を自分で守れない時に、社会福祉の専門職としてどのように援助すべきか、単に施設の運営基準に従って福祉サービスを提供する、という域から脱却していなければ、良い福祉サービスの提供は決して実現できない。実践的な視点から、権利擁護・人権感覚をよく理解した福祉人材は、どのようにコンプライアンスルールに基づきながら福祉サービスを提供すべきか、について理解することを目標とする。</p>					
科目名	医療福祉制度と暮らし	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	李忻		
<p><b>高齢者の医療保障の制度の仕組みについて学ぶ</b> 加齢と医療費、生涯医療費、後期高齢者医療制度について学ぶ。後期高齢者医療制度が高齢者にとって、どのような制度であるのかについて討論する。後期高齢者医療制度と現役世代医療保険制度との関係、後期高齢者医療制度の財政的な仕組みなどを理解することを目標とする。</p> <p><b>福祉の総合相談を通じての社会福祉の諸制度及び福祉サービスの活用について学ぶ</b> 福祉の総合相談は社会福祉士が中心となって、地域包括支援センターの他の専門職種をはじめ、地域の関係機関等と連携をしながら実施されている。総合相談・支援及び権利擁護の業務は、地域の高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続していく上で大変重要な役割を果たしている。高齢者や障がい者の日々の暮らしを支えるためには、総合相談の業務はどのように行われているのか、地域におけるネットワークの構築、虐待の現状及びその対応策、成年後見制度の活用、消費者被害の防止等について理解することを目標とする。</p>					
科目名	ソーシャルワークと専門職	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	綿祐二、安藤健一、明星智美、山本克彦、他		
<p><b>ソーシャルワークとは何かを理解する</b> 本科目は、社会福祉の学習をはじめたばかりの学生を想定した専門導入科目である。ソーシャルワークがめざすもの、価値・知識・技術の各側面からソーシャルワークとは何かを論じる。ゲスト講義やシンポジウムを通じて社会福祉士、精神保健福祉士の実践にふれ、ソーシャルワーク専門職の実践イメージをつかみ、価値・知識・技術が実践においてどのように体现されるのかを理解してほしい。</p> <p><b>ソーシャルワーク専門職に求められる実践力の理解に基づき、自身が専門職をめざすかどうかの判断ができる</b> ソーシャルワーク専門職に求められる実践力や職責を理解する。講義の後半では、社会福祉士・精神保健福祉士となりゆく具体的なプロセス（養成課程）やそこで期待されることをふまえたうえで、受講生各自が「専門職をめざす意味」を考える。「ソーシャルワーク専門職」「社会福祉がわかる市民」のいずれの道を選択するか判断に資するグループワーク等を取り入れる。</p>					
科目名	子どもと青年の育ちの支援	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	木村隆夫		
<p><b>思春期・青年期の子どもや青年たちとの向き合い方を考える</b> 思春期、青年期になった子どもや青年は、無限の発達の可能性を持つと共に、成長発達の過程でさまざまな困難に直面し、時には、不登校、非行、思春期障害などの問題が生じる場合もある。思春期・青年期の子どもや青年との向き合いは、「子育て」という視点から、「子育ての支援」という視点に切り替えなければならないが、多くの親たちは、世間の評価を気にするあまりいつまでも過度に子どもに関わり、子どもの挑戦しようという意欲を押さえ、結果として自立を妨げていることが少なくない。そこで、この授業では、非行やひきこもりを体験し回復を実現した青年たちの生の声を聴くなど、様々な角度から子どもや青年の「育ちの支援」について考えてみたい。</p>					
科目名	社会保障の制度と課題	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	李忻		
<p><b>年金保険制度について学ぶ</b> 日本の公的年金保険制度の体系、国民年金保険制度の仕組みと現状、厚生年金保険制度・共済年金保険制度の仕組みと現状、日本の公的年金保険制度の課題について理解することを目標とする。さらに、現在の社会生活において、老齢年金、障害年金を頼りに生活している人々の現状についても紹介し、年金保険制度の課題について理解を深める。</p> <p><b>社会保障の諸制度と日本の社会経済の変遷について学ぶ</b> 日本は1973年に国民皆保険、皆年金を実現し、本格的に社会保障の諸制度の充実、給付対象者の範囲の拡大、給付レベルの向上などが図られ、福祉国家が実現した。医療保険制度、年金保険制度をはじめとして、どのような社会経済背景の下で、その内容の充実が図られたのか、社会保障の諸制度の充実と社会経済との関係を理解すると共に、少子高齢化及び経済のグローバル化が進んでいる今日の日本においては、どのように社会保障の諸制度の再設計を行うべきか等について理解することを目標とする。</p>					

科目名	ケアマネジメント入門	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	綿祐二		
<p>「ケアマネジメントプロセス」の段階的課題を学ぶ</p> <p>ケアマネジメントは、一般的に①インテーク→②アセスメント（情報収集と生活課題の分析）→③プランニング（個別介護目標の設定と計画・立案）→④サービスの実施（ケア実践）→⑤モニタリング（中間評価）→⑥サービス評価→⑦再アセスメントのプロセスを経ていく。それぞれの段階においては、それを支える理論が基盤となっている。その理論の整理を行い、介護現場におけるそれぞれのステージの課題を抽出することが学習目標である。</p> <p>介護現場におけるケア実践の理論構築を図る</p> <p>実際の介護現場では、個別介護計画にそってケア実践が行われる。しかしながら、実践場面になると多くの課題が起こる。利用者主体性の原則から考えれば、フェルトニーズ（デマンド）を重視するが、専門的視点からのノーマティブニーズをどのように反映していくかが大きな課題でもある。ケア実践場面では、多くの価値観が存在する。例えば、食事場面で「経口」か「経管」か、「安全」か「自由」か、「行動制限」と「拘束」の違い、尊厳あるケア実践とは。実際の介護現場で起こる価値観の違いを理解して、どのように多職種連携によるチームアプローチを実践していくかを事例を通して議論を行っていきケア実践の理論構築を図ることが最終目標である。</p>					
科目名	高齢者福祉分野の経営戦略	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
<p>高齢者福祉の現状と課題、関係性の構築としての「ケア」について理解し、経営戦略を理解する基礎を学ぶ</p> <p>介護保険創設後、高齢者福祉サービスが介護保険給付の枠（制度）内に限定されて理解されがちである。介護保険給付だけで高齢者の福祉ニーズに対応できるわけではなく、そもそも制度ができる以前から高齢者福祉ニーズは存在していた。このため、本講義では先ず「高齢者福祉（ケア）とは何か」について理解し、経営戦略について学ぶ第一歩とする。そのうえで、制度に追随するだけでなくニーズに基づいたサービスの提供（新しい課題への挑戦）も見据えた取り組みが求められていることも理解する。サービス利用者の人生をどのように受け止めるのかを基本的な視点に、どのようなサービス提供が求められているのか、ケア実践を含む経営課題を解決をしていくうえで何をすべきか、実際の経営事例から学ぶ。真の利用者中心のサービスを提供し続けること、サービスの質を不断に向上させることが経営戦略の目的であることを踏まえ、サービス提供主体（施設・事業所）は、利用者主体のサービスとは何か、地域に何を持って貢献すべきか、を事業体の理念として明確にする。理念に基づき、環境を分析し、理念を実現するための戦略目標を立て、具体的な目標と実行策を策定し、実行し成果を測る・・・このようなプロセスを理解し、経営戦略の基礎を学ぶことが目標の第一である。</p> <p>事業体の枠を超えて共通するマネジメントのあり方を理解し、計画策定と成果測定などを通じてマネジメントの理解を深める</p> <p>マネジメント（経営管理）は、社会福祉援助技術やケア技術とは別に学習しなければならない。しかし、この二つには「社会的価値の創造」という共通の目的が存在する。営利法人、非営利法人に共通して、目的（果たすべき役割）を明確に掲げ、理念を出発点としてのマネジメントが求められている。また、理念に基づき、戦略的マネジメントのプロセスを遂行する重要性を学ぶ。事業体が最終的に目指す目的である「法人（企業）理念」とは、社会的に意味があり、高い倫理性に裏付けられていなければならないが、その実現のためにはイノベーションを繰り返し、マネジメントプロセスを不断に実行していかなければならないことを理解する。高齢者福祉分野に限らず福祉事業体は、利益の極大化が使命ではない。共通する使命は以下のように考えられる。</p> <p>①ケアなどのサービスの提供、②教育研究を通じての後継者育成、③地域の福祉マインドの醸成、④事業継続による地域経済への寄与と利益は、こうした使命を果たすための手段であって目的ではない。サービスの質や職員処遇を低下させて収支を好転させたのでは、本来の目的を果たしたことになることから容易に理解できよう。地域に何を持って貢献すべきか、このような考え方に立って、経営管理を学ぶことが第二の目的である。</p>					
科目名	福祉現場の人材養成	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
<p>「福祉専門職」は何をすべき職業か</p> <p>福祉現場における支援実践は、多くの命題的理念が基盤にある。その理念・理論によって福祉専門職は成り立っている。自己の業務を振り返り、その基盤になっている理念・理論を整理して、福祉専門職の業務の意義について再確認を行う。福祉専門職の業務は多岐にわたり、客観的に業務を整理することで課題が抽出される。実際に、職員達がどこでつまづき、どこで悩んでいるのか、業務の棚卸しを行い、福祉専門職としてのキャリア形成を行っていくのが第1目標である。</p> <p>命題的理念を福祉現場で具現化し、福祉専門職の専門性の確立をおこなう</p> <p>実際の福祉現場の支援の事例を通して、理念・理論と実践の乖離の現状を明確化していく。福祉現場では、多様な価値観の中でチームを組み、ひとつの目標に向かっていく。そのためにコンセンサスを持つことは非常に重要であり、しかしながら大変難しい。それぞれの専門家にはそれぞれの価値観がある。福祉現場では、その乖離を融合していくための討論を行っていくことが非常に重要である。本講義では、自分の価値観を他者の価値観とぶつけることで、議論の解決の糸口を見つけていくことを第2の目標とする。その後、職場環境の整備、チームアプローチの方法、リスクマネジメント法など具体的な方策まで言及していく。</p>					
科目名	スクールソーシャルワークと学校現場	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
<p>スクールソーシャルワークの基礎知識を学び、相談援助について理解を深める</p> <p>学校や家庭での生活の様々な場面で生じるいじめ、不登校、人間関係づくりなどの困難状況において、子どもの立場に立って解決に取り組む支援システムがスクールソーシャルワークである。本科目ではスクールソーシャルワークに関する基礎的な知識を学び、ソーシャルワーク実践の理解を深めることを目的とする。</p> <p>スクールソーシャルワークの必要性和今後の課題について考える</p> <p>いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待などが教育現場で生じている問題状況や背景には、子どもの心の問題と複雑に絡み合った環境的な問題がある。そのため、子どもたちと環境に働きかけ、その課題解決を図るスクールソーシャルワーカーの活躍が期待されている。授業では、スクールソーシャルワークに関する知識だけを習得するだけではなく、現場で働くスクールソーシャルワーカーから話をお聴きし、子どもたちが置かれている現状を理解する。また、学校という生活の場で展開されるソーシャルワークの必要性和課題、そして教育の場で展開される「子どもへの支援」について考えていく。</p>					
担当教員		安藤健一			

科目名	緩和ケアとターミナルケア	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	白尾久美子		
<p>緩和ケアとは何かを学ぶ</p> <p>従来、ターミナルケアは緩和ケアと同義語と考えられていた。最近の緩和ケアは、生命を脅かす病気と診断されたその時から始まる援助としてとらえられている。入院期間の短縮化に伴い、重い病気をかかえながら、多くの人々が在宅や施設で療養生活をおくり、そして死を迎えている。病気をかかえながらも少しでも苦痛が緩和され、より質の高い生活が過ごせるような援助について考える機会とする。</p>					
科目名	地域福祉と災害ソーシャルワーク	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	山本克彦		
<p>災害時におけるソーシャルワークを学ぶ</p> <p>災害という特殊な状況でソーシャルワークに求められるものとは何かについて、東日本大震災等における実践事例をもとに、時系列や状況ごとに検証する。特に災害ボランティアセンターの設置、運営や現場でのボランティアコーディネートのある方、ボランティアによるソーシャルワーク機能等について考える。またDIG（Disaster Imagination Game：災害図上訓練）やHUG（避難所運営ゲーム）をツールとしたワークショップの体験も予定している。</p> <p>災害時の学びから平常時へ、地域福祉の課題をつなぎ、つむぐ</p> <p>災害時は、平常時から取り組む福祉課題だけでなく、ふだんは潜在している課題が多様な形で顕在化する。ここでは、防災だけでなく、災害時要援護者を把握し、自助・共助を原則として被害を最小限にするためのふだんの取り組み（減災）について、地域福祉の視点から考える。また、今後起こり得る大規模自然災害への備えとして、本スクーリングを受講した個々が参画できるしくみについて、ワークショップを通して描き出す。</p>					
科目名	福祉・介護のマネジメントとリーダーシップ	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	田島誠一		
<p>福祉・介護サービスを提供する経営主体（法人）において、理念に基づいたマネジメントが行われることが求められている。施設・事業所は法人の理念を実現するために目的・目標を設定し、その実現のためにサービスを提供しなければならない。</p> <p>サービス提供の場面は、小規模・小単位化が進行している。サービスの質を不断に向上するためには、現場での良質なチームワークの構築がより重要になってきている。</p> <p>本科目の目的は、第一にマネジメントの基礎、マネジメントサイクルの理解、理念に基づく経営の重要性について理解をすること。第二に、サービス・マネジメントにおける管理者・マネージャー・リーダー・フォロワー（メンバー）それぞれの責任と果たすべき役割を理解し、OJTなどの研修や職場内研究活動の実際を学ぶなかでリーダーシップのあり方についても理解を深めることである。</p>					
科目名	事例研究（福祉職場の課題解決）	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目（クラス制科目）
		担当教員	田島誠一		
<p>福祉現場ではさまざまな問題が起きている。あるべき姿と目的や目標とのギャップを分析し（はかる）、解決方向の見出し（狙いをつける）、解決策を作成する（つくる）ことが、サービスの質の向上に欠かせない営みである。また、数多くある問題の中から、取り組みを進めることによって解決し成果に結びつくような問題を取り上げることによって、現場の文化（風土）が変革される効果も生まれる。</p> <p>本科目では、課題解決の基礎を学習した後、自職場から持ち寄った事例をグループごとに討議した後、各グループの中で最も明快あるいは困難な…、いわば特徴的な事例を全体討議の場で検討する方法をとる。課題の解決策を示すことではなく、課題解決のプロセスを理解させることを中心にする。このため、スクーリングには、自職場の紹介および受講生が考える最も重要と思える課題をA4用紙1枚程度にまとめ、持参（7枚コピー）することが事前準備として必要である。</p>					
科目名	ソーシャルワーク国際比較	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	訓覇法子		
<p>今日、ソーシャルワークは経済発展水準や文化を問わず、世界的な現象として存在する。日本では、古くは社会事業、社会福祉援助技術などと日本語に訳されてきたが、実践としての社会福祉の中核概念をなす。原型は欧米諸国の慈善事業に遡るが、近代的な社会福祉制度の成立に伴って、その制度体系の下で発展してきた諸実践がひとつの専門職として体系化され、その方法、手段、技術を総称してソーシャルワークと呼ばれるようになった。しかし、ソーシャルワークの概念定義は多様であり、理論的観点や定義基準が異なるために、一義的な共通基盤を見出すことは難しい。ソーシャルワークの機能は、上位概念である社会政策モデル・福祉レジームに依存し、ゆえに国際類型も異なる。</p> <p>本科目の目的は、日本のソーシャルワークの特性を明確にするために、社会政策モデル・福祉レジームを基軸としたソーシャルワーク・モデルの国際比較を通して、その類似性と差異を考察し、基礎的な知識を修得することにある。</p>					
科目名	認知症ケアと自我機能	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	訓覇法子		
<p>高齢者ケアの中でも、認知症は高齢になるほど発症率が高くなるため、認知症ケアは長寿・超高齢社会日本が現在直面する最も深刻な課題であり、早急な知識向上を必要とする。認知症ケアの難しさは、認知症疾患とその進行によって、パーソナリティ（人となり）の基礎をなす自我機能が悪化・低下することにある。自我とは、認知、感情、行動などの精神諸機能を統制・統合する心的装置を意味する仮説構成概念である。認知症の人の尊厳や自己決定を尊重し、できる限り自立した日常生活を可能にするのが、弱まった自我機能を支える対応法である。自らの自我機能の理解は、人間関係を基盤とするすべてのケア領域の職員にとって必要不可欠であり、良い人間関係の形成やケアの質向上とともに、ケア労働を通じた自己発達を図る前提である。この科目の目的は、12の自我機能を理解し、認知症の人の自我機能の変化と自我を支える対応法に関する基礎知識を修得することにある。</p>					
科目名	スーパービジョンの理論と実践	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	訓覇法子		
<p>近年、日本で注目され始めたスーパービジョンは比較的新しい現象であり、歴史も浅い。しかし、欧米諸国における歴史は長く、ソーシャルワークにおけるスーパービジョンの原型は慈善事業組織における現場教育であった。現在のソーシャルワーク分野のスーパービジョンが本格的に発展したのは、欧米先進国におけるソーシャルワークが拡張された1970年代半ばであった。しかし、スーパービジョンの伝統は多様であり、カウンセリング、ガイダンス、コーチングなどの他の療法・支援事業形態との境界線も明瞭ではない。また、目的や理論的観点によってスーパービジョンの内容も大きく異なる。この科目の目的は、国際的観点からスーパービジョンの多様な種類や目的・意義を整理し、基本的過程やスーパーバイザー及びスーパーバイジーに要求される条件などに関する基礎的な知識を修得することにある。</p>					

科目名	スーパービジョン演習	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目(クラス制科目)
		担当教員	訓覇法子		
<p>スーパービジョンの種類は、大きく個別スーパービジョンとグループ・スーパービジョンに分かれる。さらに、使用する理論的視野や手法も多様である。ここでは、ケア現場(とりわけ認知症ケア)で実践し、職場内で高度ではないが同僚のための基本的なグループ・スーパービジョンや学習会を組織化したいと考えている人々を主な対象とする。「スーパービジョンの理論と実践」の修了を終えた後、スーパービジョンの構造と流れを理解し、それに沿って事例の書き方及び紹介の仕方、主な手法や評価方法に関する基礎知識を修得する。少人数によるグループ演習形態によって、役割演技(ロール・プレイ)などの手法の訓練を実際に行う。</p>					

## 【専門科目：ヘルスケア・ライフマネジメント科目群】

科目名	精神障害者と福祉実践Ⅰ	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	青木聖久		

### 自分の問題として

現代社会において、精神障害(しょうがい)を有するという事は、決して一部の人の問題ではない。生涯のうちに、5人に1人は精神疾患を体験する、と言われている。そのようなことから、たとえ、自分が精神障害を有したり、その家族になったとしても、胸を張って暮らせる社会こそが、真のノーマライゼーション社会であるといえる。このようなことが、ごく当たり前になる社会を目指し、個人及び社会に対して実践をするのが精神保健福祉士(PSW)である。

### 自分及び自分たちができること

本科目では、精神障害のなかでも統合失調症を中心にして、精神障害者のことを様々な側面から知ることを目指す。精神障害者や家族が、これまでどのようなプロセスを辿り「いま・ここに」いるのかや、いかなる社会的背景のなかで暮らしているのかについて、想像力を膨らませる。また、PSWが、どのような魅力と可能性を有する専門職であるのかについても、第一線で活躍しているPSWの話等を通して、理解を深める。そして、最終的に、「自分がPSWになる・PSWを活用する」等、様々な「自分及び自分たちができること」について考えることを目標とする。

科目名	精神障害者と福祉実践Ⅱ	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	青木聖久		

### 「暮らし」と「命」

本科目は、「精神障害者と福祉実践Ⅰ」の発展科目である。したがって、①精神障害者理解、②精神保健福祉士(PSW)をはじめとする社会福祉実践、についての基本的理解を前提として授業をすすめる。そのうえで、精神保健福祉の今日的課題について、広範囲に、かつ、深く掘り下げていく。そのようなことから、本科目では、発達障害や高次脳機能障害、さらには自殺問題等にて、対象・範囲を広く設定する。そして、最後には、全体のなかで共通する「暮らし」や「命」ということについて追求をする。

### 活かすことによって生かされる

「精神障害者の生活支援」について明らかにする。とはいえ、社会福祉実践は、精神障害者や家族から見、支援内容がわかりづらかったりする。加えて、支援者自身も、実はわかりづらい側面がある。そのようなことから、利用者及び支援者にとって、ニーズを共有しやすい所得保障、とりわけ障害年金制度を切り口にして、生活支援について迫る。加えて、本科目では、これらの学びを通して、受講している皆さんが、「社会経験を活かすことによって、社会で自分自身が生かされる」ということについて考えていきたい。

科目名	障害者政策と自立支援	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	訓覇法子		

### 国際比較手法の基礎知識

比較とは何か、比較の目的と方法に関する基礎知識を習得する。

### 障害者政策に関する日本とスウェーデン二国間比較

障害者自立支援法は形だけの改正で終わり、根本的な障害者制度改革には至っていない。多くの先進諸国と異なり、日本は国連障害者権利条約(2006年)をいまだに批准していないが、スウェーデンは他の先進諸国より一足先に施設全廃を実現し、障害者が自立して、地域で普通の生活を営むことができる共生社会をつくりあげてきた。障害者政策への取り組みが国によって大きく異なるのは、なぜか?スウェーデンの障害者政策を基軸として、障害や自立・自律に関する国家の考え方や国家責務の在り方を考察し、日本の障害者政策を批判的に検証する。

科目名	超高齢社会と老後リスク管理	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	川床憲一		

### 超高齢社会の現況

2012年版の白書によると、65歳以上の高齢者は3,074万人(2012年9月15日現在)となり、総人口に占める割合(高齢化率)は24.1%に達した。国連の定義によると、65歳以上人口が21%超は「超高齢社会」とされ、もはや「高齢化社会(7%超)」でも「高齢社会(14%超)」でもない。更に日本人の平均寿命は伸び続けており、社会保障給付総額は100兆円に達している。その財源を、借金で賄っているため国庫財政は「火の車」であり、緊急に財政再建に着手する必要がある。まずはこの日本の状況の確認とそれにより発生する諸問題を確認する。

### 老後の財政的基盤強化と今後の社会保障制度の在り方

この現況を踏まえ「個人の備え」としての老後の財政的基盤強化を考察する。老後に発生するリスクを明らかにし、当事者の側にたった老後人生のマネジメントの方法を学ぶ。自らの置かれた状況を理解し、学習し、覚悟を決め、そして自らそれらの準備を始めることである(Aged Life Management)。そして「国家の備え」である社会保障制度の在り方を考察する。社会保障制度とは、国民の生存権の確保を目的とする保障制度のことであり、公正、公平で効率的な制度であることが求められている。現状を振り返ると、前提条件の「国家の存続」自体が危ぶまれる状況にあり、すべての国家的事業の抜本的な見直しが必要の課題である今、社会保障制度もその例外ではない。これからの日本で生きていくためにどのように備え、そしてどのような国にすべきか、そしてそのために何をすべきか議論を深めたい。

科目名	福祉とテクノロジー活用	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	山田栄子		
<p>障害者・高齢者にとってコミュニケーションや社会とのつながりを確保することがいかに重要かを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障害者・高齢者のQOL向上として、身体的な状況、医療的な介入（治療等）に焦点があてられがちであるが、AACという視点でのアプローチにより、本人の意欲を引き出す手法について、理解を深める。</li> <li>●AACとは、Augmentative &amp; Alternative Communicationの略で、拡大・代替コミュニケーションと訳されている。</li> <li>●本人の自己決定や自己選択を引き出すため、「その人に残された能力とテクノロジーの力で自分の意思を相手に伝えること」を実現する技術を学ぶ。</li> </ul> <p>多様なコミュニケーションを実現する手法として、テクノロジーの有効性を実感する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●現代社会において、自分自身がいかにテクノロジー（IT等）の恩恵を受けて生活しているかを実感しつつ、AACのアプローチにおいて、ATの重要性と活用方法を学ぶ。</li> <li>●ATとは、Assistive Technologyの略で、障がいのある人の生活を支えるために利用される技術を指す。</li> <li>●特に身の回りにおける便利なテクノロジーを中心に活用可能性を考える。</li> <li>●また、これらを推進するための社会的な課題（制度改革、意識改革・支援人材の育成等）についても学ぶ。</li> </ul>					
科目名	痛みとりハビリテーション	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	松原貴子		
<p>痛みの病態メカニズムと痛み治療・管理について学ぶ</p> <p>痛みは老若男女、疾患を問わず共通した訴えであり、医学の広範領域に関連することから、世界的には「疼痛医学」として一学問領域が確立されつつある。疼痛医学におけるリハビリテーションを中心に、痛みが発生するメカニズムを理解し、さまざまな病態にあわせたアセスメントとマネジメントについて学ぶ。</p>					
科目名	ユニバーサルデザインと暮らし	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	星川安之、森川美和		
<p>ユニバーサルデザインを理解する</p> <p>私たちの暮らしの中に、「ユニバーサルデザイン」という言葉が浸透し、最近各分野において、ユニバーサルデザインの視点からの設計や基準の見直しが見直しが活発になってきている。しかし、福祉分野では、その考え方が大切で、かつ応用できる工夫や製品が数多くあるにも関わらず、見過ごされているケースがある。ユニバーサルデザインおよび関連する概念を学ぶとともに、ユニバーサルデザインが人々の暮らしに与える効果・意義について考える。</p>					

## 【フィールドスタディ科目】

科目名	スウェーデン研修	単位数	4単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	訓覇法子		
<p>現代社会の変容に伴って人々が遭遇する社会的事故は多様化し、生活の安全が脅かされる。私たちの生活の根幹に関わる政策が、貧困縮小や生活の安全・向上を目的とする社会政策である。社会政策を国際的視点から見ると、選別的最低限保障を基礎とする日本の社会保障制度と異なり、スウェーデンは普遍的スタンダード保障を原則とする数少ない国のひとつである。福祉国家とは何か？特に、教育、労働、家族という基本的な生活ニーズの充足という観点から、スウェーデン社会はどのように構築され、どのように機能するのか？事前学習と現地での見学ならびに見学を深めるセミナーによってスウェーデン福祉国家を考察する。同時に、スウェーデン福祉国家の生活安全保障制度を基軸として、日本の生活安全保障制度の特質とその限界性を批判的に検証する。</p> <p>学習目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①現代社会政策に関する基本的な知識を国際的視点から修得する。</li> <li>②スウェーデンと日本の比較を通して、国際比較手法に必要な知識を修得する。</li> <li>③見学や現地の人々との交流によって、スウェーデンの生活習慣や政治文化などを学ぶ。</li> </ol>					

## (3) 資格科目（演習・実習科目）

### 【社会福祉士国家試験受験資格】

科目名	相談援助演習Ⅰ	社	単位数	2単位	科目形態	テキスト・スクーリング併修科目（クラス制科目）
			学年配当	3年	担当教員	（調整中）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の科目学習で学んできた知識と関連して学習し、相談援助実践の知識・技術・価値を理解する。</li> <li>・援助専門職をめざす自己について洞察し、自己覚知を深める。・実践の場にふさわしいコミュニケーション技術を習得する。</li> <li>・相談援助における基礎的な面接技術を体得する。・学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。</li> </ul>						
科目名	相談援助演習Ⅱ	社	単位数	4単位	科目形態	テキスト・スクーリング併修科目（クラス制科目）
			学年配当	3年	担当教員	（調整中）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助の知識と技術を実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を身につける。</li> <li>・相談援助のプロセスとそこで求められる知識の活用や技術、専門職としての倫理や態度を表現する力の涵養。</li> <li>・総合的かつ包括的な援助や地域福祉の基盤整備と開発、社会資源の活用・調整・開発の技術を実践的に学び、地域で働く社会福祉士の役割を理解する。</li> </ul>						

科目名	相談援助演習Ⅲ <span style="color:blue">社</span>	単位数	4単位	科目形態	テキスト・スクリーング併修科目(クラス制科目)
		学年配当	4年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・援助活動におけるさまざまな課題に対する総合的かつ包括的な援助について実践的に習得する。</li> <li>・人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できる態度を身につける。</li> <li>・実習等における個々の実践を一般化し、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を身につける。</li> <li>・実習事例を活用し、地域の社会資源の実際や医療・福祉マネジメントの実際を学び、地域におけるネットワーク形成の方法や技術を体得する。</li> </ul>					
科目名	相談援助実習指導Ⅰ <span style="color:blue">社</span>	単位数	3単位	科目形態	テキスト・スクリーング併修科目(クラス制科目)
		学年配当	3年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助実習と相談援助実習指導における個別指導及び集団指導の意義を理解する。</li> <li>・相談援助実習に必要な倫理や態度、相談援助に関する知識と技術を理解する。</li> <li>・実習先に関する基本的な理解(施設・事業者・地域社会等に関する理解)を進め、実習先で行なわれる相談援助業務や関連業務を理解する。</li> </ul>					
科目名	相談援助実習指導Ⅱ <span style="color:blue">社</span>	単位数	3単位	科目形態	テキスト・スクリーング併修科目(クラス制科目)
		学年配当	4年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助実習を通じて、大学で学んだ知識、援助技術等を具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。</li> <li>・具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</li> <li>・相談援助専門職としての自覚を促し、専門職として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を身につける。</li> </ul>					
科目名	相談援助実習 <span style="color:blue">社</span>	単位数	4単位	科目形態	実習科目
		学年配当	4年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助実習を通して、社会福祉士に必要な相談援助に関する「専門知識」「専門援助技術」及び「関連知識」の内容の理解を深める。</li> <li>・「専門知識」「専門援助技術」及び「関連知識」を実際に活用し、相談援助業務に必要な資質・能力・技術を体得する。</li> <li>・職業倫理や自己の課題を把握する力を身につけ、相談援助専門職としての自覚に基づいた行動ができるようにする。</li> <li>・具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化、理論化し、体系立てていくことができる能力を涵養する。</li> <li>・関連分野の専門職との連携のあり方およびその具体的内容を実践的に理解し、医療・福祉マネジメントを担う能力・技術を体得する。</li> </ul>					

## 【精神保健福祉士国家試験受験資格】

科目名	精神保健福祉援助演習 <span style="color:blue">精</span>	単位数	6単位	科目形態	テキスト・スクリーング併修科目(クラス制科目)
		学年配当	4年	担当教員	(調整中)
<p>精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る基礎的な知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助に係る基礎的な知識と技術に関する具体的な実技を用いること。</li> <li>・個別指導並びに集団指導を通して、地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談事例を体系的にとりあげること。</li> </ul> <p>精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的かつ包括的な相談援助、医療と協働・連携する相談援助に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげること。</li> <li>・個人指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形態により行うこと。</li> </ul>					
科目名	精神保健福祉援助実習指導 <span style="color:blue">精</span>	単位数	6単位	科目形態	テキスト・スクリーング併修科目(クラス制科目)
		学年配当	4年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉援助実習の意義について理解する。</li> <li>・精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。</li> <li>・精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術等を体得する。</li> <li>・精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。</li> <li>・具体的な体験や援助活動を、専門的知識及び技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</li> </ul>					
科目名	精神保健福祉援助実習 <span style="color:blue">精</span>	単位数	5単位	科目形態	実習科目
		学年配当	4年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉援助実習を通して、精神保健福祉援助並びに障害者等の相談援助に係る専門的知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術等を体得する。</li> <li>・精神保健福祉援助実習を通して、精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について把握する。</li> <li>・精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。</li> <li>・総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。</li> </ul>					